

クリスマスだから考える

<今月の聖句> さあ、ベツレヘムへ行こう！
(ルカによる福音書2章15、16節)

「♪ クリスマスだから考える どうして、どうして、どうして
かなしいことが、あるのかな ♪」

つくしのクリスマスページントのはじまりを告げる讃美歌です。
今年も、このフレーズを子どもたちがそこここで口ずさんでいます。
ついこの間まで、あんなに小さかった子どもたちが、年長になった今
自分の力ですくと立って、胸をはって、歌を通じ私たちに問いかける。
「どうして、どうして、どうして、悲しいことがあるの？」と

ちまたで、「クリスマス」のイメージといえば、多分
はなやかさ、豪華さ、にぎやかさ、うきうきした気分…などでしょう。
それとはまったく逆、深く胸にささる訴えが、この歌にはあります。
そのうえで、聖書を見直すと、歌の意味がよく分かるように思います。

初めて子を宿した貧しい母とその夫に、皇帝の有無を言わさぬ命令が下る。
住民登録をせよ！ すぐさま出身地への遠い荒野の旅を余儀なくされる。
ようやくたどり着いた目的地ベツレヘムでは、どの宿もいっぱい。
仕方なく、寒風ふきすさぶ馬小屋で過ごす真夜中に、聞こえてくる産声。
無力な赤ん坊が寝かされたのは、ベッドではなく、牛や馬の飼葉おけ。
イエスの人生は、「悲しみ」で始まりました。大人になった後、村から村へ
同じように「悲しみ」をかかえた一人ひとりを訪ね歩きました。
その一人は、もしかすると、あなたかもしれません。

「どうして悲しいことが？」。
その答えは、やはり子どもたちがページントの最後に教えてくれます。
「こうして神さまは約束通り、救い主イエスさまをおつかわしになりました」
私たちの悲しみは、すべて、この方と出会う喜びのためだったんだ！
私たちの悲しみをことごとく慰めてくださる救い主が、まもなく来られます。
(つくし保育園園長 つだかずお)

<礼拝のご案内> クリスマスは教会へ！
クリスマス礼拝 12月25日(日) あさ10時30分 だいで教会
きよしこの夜、まきびとひつじを。懐かしい讃美歌、クリスマスのお話
つくし保育園お庭のチャペルの礼拝堂、ご家族と一緒にどうぞ